

サシバエにご用心！！

だんだんと涼しくなり、サシバエが活発になる季節になってきました。サシバエの吸血ストレスによる採食量の低下およびそれに伴う泌乳量・増体量の低下などを防ぐため、サシバエ対策を行いましょう。

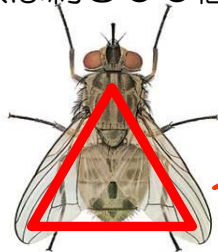
サシバエの生態

- 外見特徴： 正三角形に近い体型
灰色、腹部が丸い
- 吸血性： 吸血は主に朝夕2回
吸血時以外は草むらや木陰で休息
- 産卵： 羽化後1週間から開始
産卵数は約800個

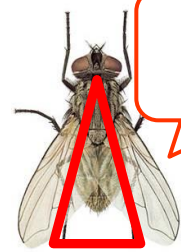
サシバエの影響

- 吸血
→牛白血病を媒介
- 吸血ストレス
→増体量・泌乳量の低下

イエバエとの違い



サシバエ
(針型の口吻を持ち、
正三角形に近い形)



イエバエ
(二等辺三角形
に近い形)

種類	サシバエ	イエバエ
好む動物	大型動物（特に牛）	全畜種
成虫の体長	♂ 3.0～6.5 mm ♀ 5.0～8.0 mm	6.0～8.0 mm
口器	針型（雌雄とも）→吸血	くちびる型→舐める
産卵場所	家畜の糞便（少し古め）、堆肥	家畜の糞便、堆肥、ゴミ
発生時期	涼しい時期（春先、晩夏から秋）	1年中（初夏、秋が特に多い）
生涯産卵数	300～800個	500個
成虫の寿命	約15日	約3週間

飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL: 0577-33-1111(402) FAX:0577-32-9016

E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

☆ サシバエ対策 ☆



① 発生させない

→ こまめな除糞と乾燥

畜舎の隅、柱の根元、バークリーナー、汚水だまり、残餌、給水器の下部などが産卵場所になりやすい

サシバエは生涯に800個もの卵を産みます。発生させないことが重要！！

② 畜舎に入れない、出さない

→ 防虫ネット

- ・ ネットの目合いは2mm以下
(4mm以上だとサシバエはすり抜けます)
- ・ ネットの掃除はこまめに！

→ ハエ取り紙 (背の高さより下に設置)

- ・ 吸血直後は動きが緩慢で、1.5m以下でしか飛べません。

→ 畜舎周囲の草刈り

- ・ サシバエの休息場所を減らしましょう。

→ 送風

- ・ 常時一定の送風量があれば、サシバエが牛に近寄ることが難しく、結果的に発生数を減らすことも確認されています。

③ 殺虫剤

→ 卵・幼虫・さなぎを駆除する

- ・ 農場内のハエのうち、約80%は卵・幼虫・さなぎの状態です。
- ・ 特に幼虫には殺虫剤の効果が出やすい

薬剤は、数cm下まで浸透するようにしっかり散布しましょう！！

